

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	集落維持活動支援事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係
-------	------------	-----	---------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	5. 持続可能な村、住民が主体の村／定住人口の増加／集落維持と定住対策			
関連する主な計画等				
根拠法				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	役場から1.5km以上離れており、高齢化率が40%以上の集落を対象 青見平、寺尾、大沢、濃間、中央、横川、恩田、宮本、中下町、浪合上町、下半堀、上清2、下清2			
事業開始年	H20	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	阿智村の全ての集落に人が住み続けられ、持続可能になることを目標とする、集落の住民が自ら集落の再生、維持のために行う事業について、支援金を交付する。					
具体的取組	上記の13集落を対象として、草刈り等集落の維持に係る経費について、補助申請が出来る旨を自治会説明会でお知らせしている。					
実績・効果	住んでいる人たちの集落に対する維持継続の向上し、集落の再生、活性化が図られた。 事業実施2部落。					

歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		支援金	114			

  

事業 コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	31	11	114	200	200
	うち一般財源	31	11	114	200	200
	うち補助金					
	うち個人負担					
	従事職員 (人)	正規職員 1	1	1	1	1
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定
必要性	住民のニーズは高いか	b	C
	手段、成果は妥当か	a	
	対象者の設定は妥当か	c	
	村の関与は妥当か	a	
有効性	期待された効果が得られたか	事業実施した集落は一応の効果はある	B
効率性	コストの削減に努めたか	a	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	
公平性	受益者負担は適切か	事業費の1/3は地元負担である	A
総合評価	C		

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	制度の周知が必要である。
今後の取り組み	補助対象となる集落へ直接お知らせする。対象集落の見直しを検討する。